

図書館だより

金沢市立朝日小学校図書館
2013年 6月



アフリカを知ろう！

アフリカの人たちは、どんな服装をして、どんなことばを話しているのかな？

6月1日から横浜市で「アフリカ開発会議」が開かれます。

ユーラシア大陸に次いで世界で2番目に広いアフリカ大陸。

ジャングル、サバンナの野生動物、しゃく熱の砂漠というイメージでしたが、最近は経済成長著しい国も多いのです。テロとの戦いの前線となっている国もあります。

アフリカ開発会議

日本で1993年から5年に1回開かれています。「アフリカの貧困対策などをいっしょに考えよう。」と日本がよびかけました。

今回は、アフリカ54カ国のうちやく40カ国の大統領や首相が来日し、経済や平和について話し合います。

○×クイズにチャレンジしよう！

(こたえは、このおたよりの下ににあります)

- Q1 アフリカ人は黒人だけだ。
 ○ ×
- Q2 アフリカの国にある直線の国境。これは、川がまっすぐ流れているから。
 ○ ×
- Q3 雪が降る場所がある。
 ○ ×
- Q4 携帯電話の契約件数は、日本より多い。
 ○ ×
- Q5 世界一の砂漠があります。その名前はサハラ砂漠
 ○ ×



6月 おすすめの本

アフリカ関連の本を紹介します。



世界の子どもたち

世界をむすぶ
ぼくの声 わたしの声
バーナバス・キンダスルー
アナベル・キンダスルー
(ほるぷ出版)

いろいろな暮らしや環境の世界の子どもたちができます。

服装だけでなく、毎日の生活や希望、心配事がわかり、共通点の多いことがわかります。

34～45ページは、アフリカの子どもたちです。

走れマスワラ

グザヴィエ・ローラン・プティ・作
(PHP研究所)

わたし(シサンダ)は、心臓が悪い。手術が必要なのだが、そんなお金は家にはない。

お母さんのマスワラは、その費用を作るためマラソン大会に出場する。参加費とシューズのために大事な家畜を売った。村の人たちは笑った。

大事な大会を前にサソリにさされたマスワラ、初出場のマラソン大会の結果は？ 昨年度読書感想文の高学年課題図書



チョコレートと青い空

堀米 薫・作 (そうえん社)

ガーナからやってきた農業研修生のエリックのこぼれにしゅうじはびっくり。「大人になるまでチョコレートを食ったことなかった。」ガーナはチョコレートの原料カカオ豆の収穫世界一なのにごうして？

しゅうじの本当の国際理解は、ここからがはじまった。

この本も昨年度中学年課題図書

【○×クイズのこたえ Q1 × Q2 × Q3 ○ Q4 ○ Q5 ○】